＊2024 年度に履修登録された EK39（家族心理学）とは別科目になりますのでご注意ください

専門教育科目　講義科目

授業科目名	家族心理学	科目コード	配当年次	単位
担当教員	前田　啓人	EH83	―	2

科目の概要

近年、日本の家族のあり方は変化し続けている。晩婚化、非婚化、少子化、ＤＶ、離婚の増加、育児不安、児童虐待、介護、親子関係のトラブルなど、連日様々な話題が取りあげられている。
本科目では、人間関係を「家族」という視点から切り取った時に浮かび上がる様々な現象・関係性・トラブルなどについて、文献やデータを題材に心理学の視点から学習する。「家族」という社会的単位に関する研究成果を詳しく知るとともに、それらの背景についても理解を深める。

科目の到達目標

①現代の家族について、心理学ないし社会学的研究や統計調査に基づいて正確な理解ができる。
②本科目で取得した概念/理論をベースに、家族のあり方について一般的な考え方を説明した上で、自分の意見を理由を付して論理的に主張することができる。

テキスト	『よくわかる家族心理学』柏木 惠子(編著),ミネルヴァ書房,2010年

テキストの読み方

①テキストは、家族心理学に関わる専門家による章ごとの分担執筆となっており、内容は章ごとにほぼ独立している。
②テキストを読む際は、しばしば目次に立ち戻りつつ、家族の問題全体の中で、当該の章がどの内容を示しているのかを理解するように努めること。
③テキストの内容と自身の経験（特に問題・悩み）が重なる感覚を体験すると思われる。自身の経験をテキストの内容に照らして相対化させ、共通点や相違点を書き出し、その一つ一つをキーワードにしてさらに調べることで学びを深めることができる。

単位修得の方法

リポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、２単位を修得できる。